
令和元年度

ごみの減量・リサイクルなどに関するアンケート調査

集計結果報告書

令和2年1月

米子市 市民生活部 クリーン推進課

はじめに

米子市では、平成28年に第3次米子市一般廃棄物処理基本計画を策定し、循環型社会の構築を進展させ環境負荷の軽減を図るため、ごみの発生抑制や再資源化によるごみの減量に取り組んでいます。

このたび、ごみの減量・リサイクルなどの現状に対するご意見や、今後のごみ処理に関する意向等を把握するため、「ごみの減量・リサイクルなどに関するアンケート調査」を実施しました。

今回の調査結果につきましては、第4次米子市一般廃棄物処理計画の策定に当たり、参考とさせていただきます。

結びに、この調査にご協力いただきました市民の皆さまに対して、心よりお礼申し上げます。

米子市長 伊 木 隆 司

目 次

調査概要	1
回答者の基礎情報.....	2
1 ごみの問題に関する意識について.....	4
2 減量・リサイクルについて.....	6
3 ごみの収集について.....	12
4 生ごみの減量について.....	15
5 レジ袋について.....	17
6 小型家電について.....	19
7 ごみ置場について.....	21
8 市の施策について.....	22

調査概要

<調査の目的>

第4次米子市一般廃棄物処理基本計画策定の資料とするため。

<調査対象者及び調査実施方法>

住民基本台帳から無作為に選んだ18歳以上の市民3,000人に対し、アンケート調査票を郵送配布・回収

※年代別構成比率による按分方法については下表のとおり

世代	人口（人）	構成比	抽出人数（人）
18歳以上20歳未満	2,909	2.4%	71
20歳代	13,601	11.0%	330
30歳代	16,841	13.6%	409
40歳代	21,317	17.2%	517
50歳代	17,519	14.2%	425
60歳代	19,229	15.6%	467
70歳代以上	32,209	26.1%	781
合計	123,625	100.0%	3,000

<調査時期>

令和元年9月（9月9日発送 同月30日締切り）

<回収結果>

配布数 3,000件

回収数 1,240件

回収率 41.3%

<集計結果について>

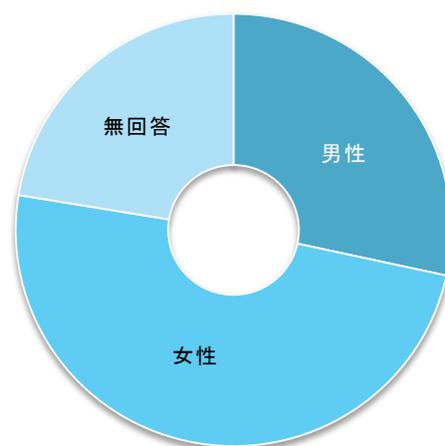
端数処理の都合上、合計が合わない場合があります。

「▶」以降は、回答に対する考察です。

回答者の基礎情報

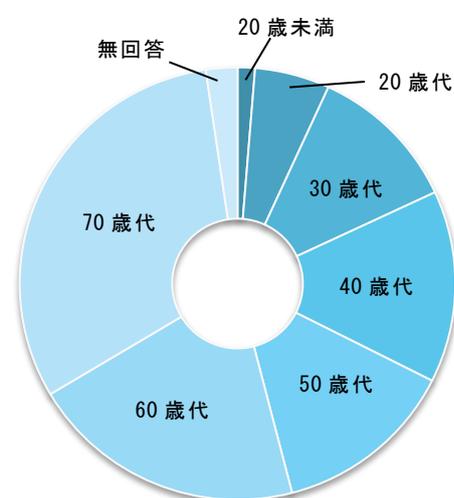
<性別>

回答項目	回答数	割合
1 男性	352	28.4%
2 女性	610	49.2%
0 無回答	278	22.4%
合計	1240	100.0%



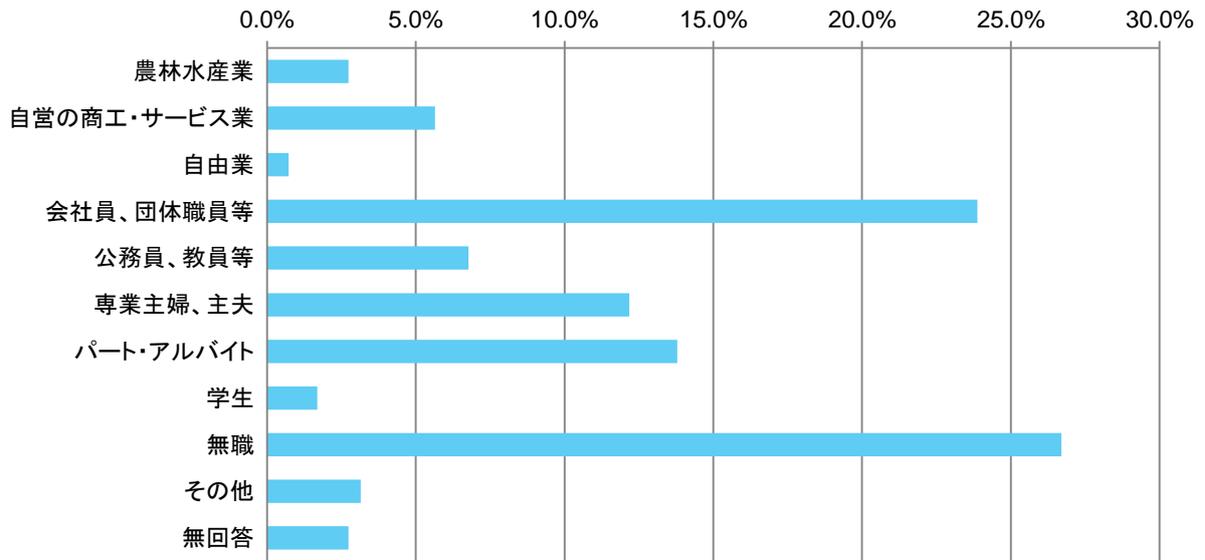
<年齢>

回答項目	回答数	割合
1 20歳未満	16	1.3%
2 20歳代	69	5.6%
3 30歳代	139	11.2%
4 40歳代	178	14.4%
5 50歳代	168	13.5%
6 60歳代	254	20.5%
7 70歳代以上	387	31.2%
0 無回答	29	2.3%
合計	1240	100.0%



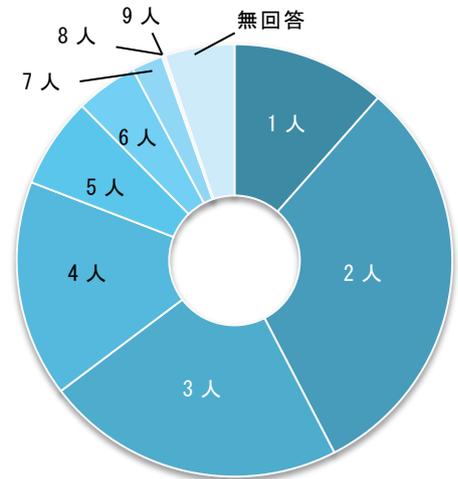
<職業>

回答項目	回答数	割合
1 農林水産業	34	2.7%
2 自営の商工・サービス業	70	5.6%
3 自由業	9	0.7%
4 会社員、団体職員等	296	23.9%
5 公務員、教員等	84	6.8%
6 専業主婦、主夫	151	12.2%
7 パート・アルバイト	171	13.8%
8 学生	21	1.7%
9 無職	331	26.7%
10 その他	39	3.1%
0 無回答	34	2.7%
合計	1240	100.0%



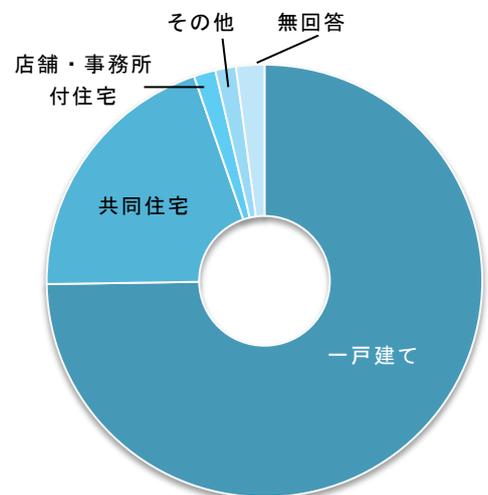
<同居者人数> ※回答者ご本人を含んだ人数

回答項目	回答数	割合
1 1人	142	11.5%
2 2人	384	31.0%
3 3人	276	22.3%
4 4人	201	16.2%
5 5人	84	6.8%
6 6人	57	4.6%
7 7人	29	2.3%
8 8人	2	0.2%
9 9人	1	0.1%
0 無回答	64	5.2%
合計	1240	100.0%



<住宅形態>

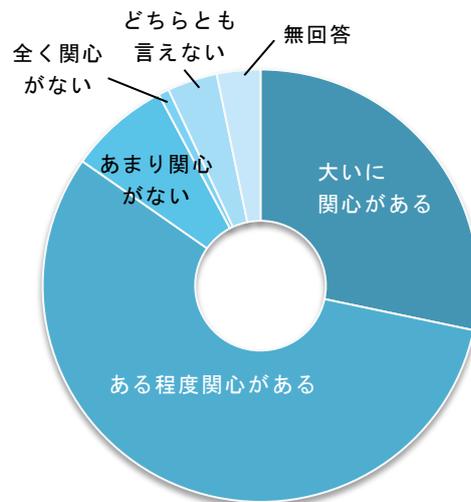
回答項目	回答数	割合
1 一戸建て	927	74.8%
2 共同住宅（アパート・マンション等）	248	20.0%
3 店舗・事務所付住宅	20	1.6%
4 その他	19	1.5%
0 無回答	26	2.1%
合計	1240	100.0%



1 ごみの問題に関する意識について

問1 ごみに関する問題について関心はありますか。※○は1つ

回答項目	回答数	割合
1 大いに関心がある	351	28.3%
2 ある程度関心がある	700	56.5%
3 あまり関心がない	93	7.5%
4 全く関心がない	10	0.8%
5 どちらとも言えない	46	3.7%
0 無回答	40	3.2%
合計	1240	100.0%

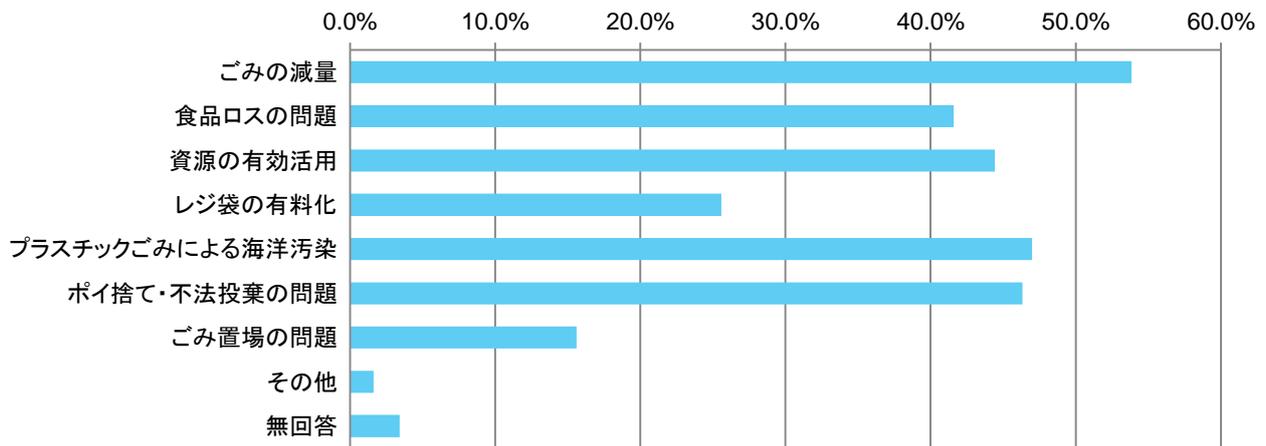


- ▶ 「大いに関心がある」と「ある程度関心がある」と答えた人の割合が合わせて85%あり、ごみに関する問題への関心は高いと思われます。

問2 (問1で1、2に○を付けた方) 関心が高いのはどの項目についてですか。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 ごみの減量	566	53.9%
2 食品ロスの問題	437	41.6%
3 資源の有効活用	467	44.4%
4 レジ袋の有料化	269	25.6%
5 プラスチックごみによる海洋汚染	494	47.0%
6 ポイ捨て・不法投棄の問題	487	46.3%
7 ごみ置場の問題	164	15.6%
8 その他	17	1.6%
0 無回答	36	3.4%

(n=1051)



- ▶ 「ごみの減量」についての関心が最も高くなっています。また、近年メディア等で話題になることが多い「プラスチックごみによる海洋汚染」や「資源の有効活用」、「食品ロスの問題」への関心も高くなっています。そのほか、生活に身近な「ポイ捨て・不法投棄の問題」への関心も高いことがわかります。

問3 米子市では、リフューズ（発生抑制）、リデュース（ごみを減らす）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）の4Rを推進していますが、この4Rの取組について知っていますか。
※〇は1つ

回答項目	回答数	割合
1 よく知っている	99	8.0%
2 少しは知っている	362	29.2%
3 「3R」なら知っている	174	14.0%
4 あまり知らない	362	29.2%
5 全く知らない	177	14.3%
0 無回答	66	5.3%
合計	1240	100.0%

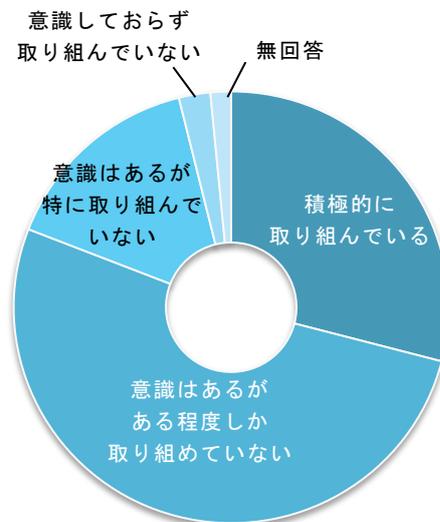


- ▶ 4Rについて、「よく知っている」「少しは知っている」と回答した人は合わせて37%にとどまっています。一方、「あまり知らない」「全く知らない」と回答した人が合わせて44%にのぼり、認知度が十分でないことがわかります。

2 減量・リサイクルについて

問4 日頃から、ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。※○は1つ

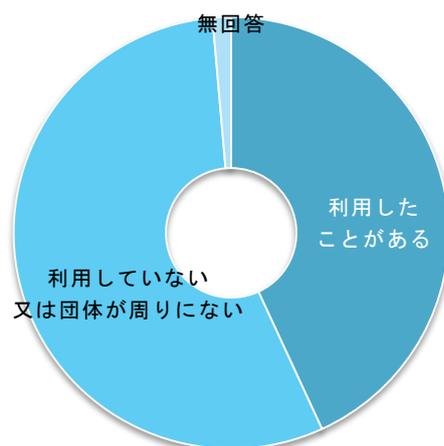
回答項目	回答数	割合
1 積極的にごみの減量やリサイクルに取り組んでいる	360	29.0%
2 ごみの減量やリサイクルについての意識はあるが、ある程度しか取り組めていない	643	51.9%
3 ごみの減量やリサイクルについての意識はあるが、特に取り組んでいない	189	15.2%
4 ごみの減量やリサイクルについては意識しておらず、取り組んでいない	29	2.3%
0 無回答	19	1.5%
合計	1240	100.0%



- ▶ 「積極的にごみの減量やリサイクルに取り組んでいる」「ごみの減量やリサイクルについての意識はあるが、ある程度しか取り組めていない」と回答した人が合わせて81%を占めていることから、何らかの取り組みはしているという人が多いことがわかります。一方、「ごみの減量やリサイクルについての意識はあるが、特に取り組んでいない」「ごみの減量やリサイクルについては意識しておらず、取り組んでいない」と回答した人が合わせて18%となっています。

問5-1 自治会、子ども会等が実施している資源ごみ回収（集団回収）について、過去1年間の利用状況をお答えください。※○は1つ

回答項目	回答数	割合
1 利用したことがある	535	43.1%
2 利用していない又は実施している団体が周りにない	688	55.5%
0 無回答	17	1.4%
合計	1240	100.0%

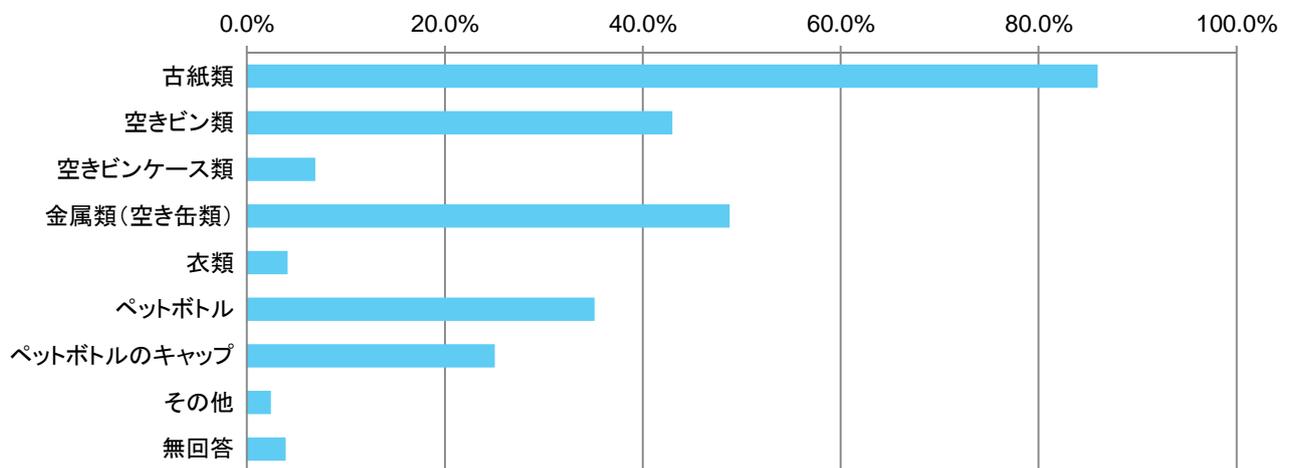


- ▶ 市の補助事業である資源ごみ回収の実施団体は67団体（平成30年度）ですが、約4割の人が資源ごみ回収を利用していることがわかります。

問5-2 (問5-1で1に○を付けた方) 利用した品目をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 古紙類	460	86.0%
2 空きビン類	230	43.0%
3 空きビンケース類	37	6.9%
4 金属類(空き缶類)	261	48.8%
5 衣類	22	4.1%
6 ペットボトル	188	35.1%
7 ペットボトルのキャップ	134	25.0%
8 その他	13	2.4%
0 無回答	21	3.9%

(n=535)

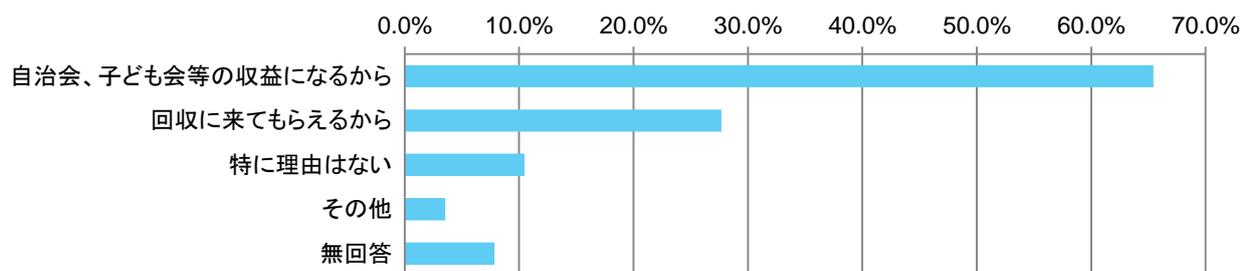


- ▶ 従前から資源ごみ回収で回収されることが多い、古紙類、金属類(空き缶類)、空きビン類(再利用ビン)に加え、ペットボトルやペットボトルのキャップについても資源ごみ回収に出されていることがわかります。ペットボトルのキャップについては市の分別区分では不燃ごみに該当しますが、市内にリサイクル業者がいることから、資源ごみ回収で回収されているものと思われま。

問5-3 (問5-1で1に○を付けた方) 利用した理由をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 自治会、子ども会等の収益になるから	350	65.4%
2 回収に来てもらえるから	148	27.7%
3 特に理由はない	56	10.5%
4 その他	19	3.6%
0 無回答	42	7.9%

(n=535)

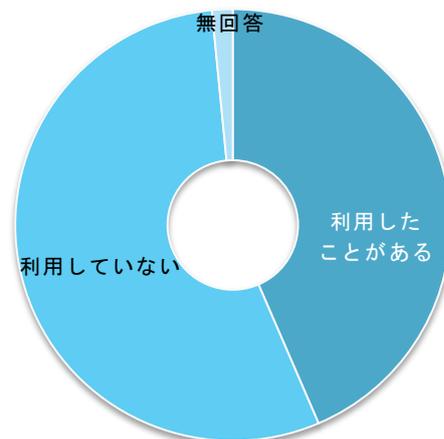


- ▶ 資源ごみ回収を利用した人の多くが、回収団体の収益になることから資源ごみ回収を利用したと回答しています。

問6-1 スーパー等の店頭回収について、過去1年間の利用状況をお答えください。※〇は一つ

ここでいう「店頭回収」とは、スーパー等が営業時間内に常時回収しているものを指します。スーパー等の駐車場等において、回収業者が決まった曜日に回収を行っているもの（古紙類や缶等）については、問7でお答えください。

回答項目	回答数	割合
1 利用したことがある	540	43.5%
2 利用していない	681	54.9%
0 無回答	19	1.5%
合計	1240	100.0%

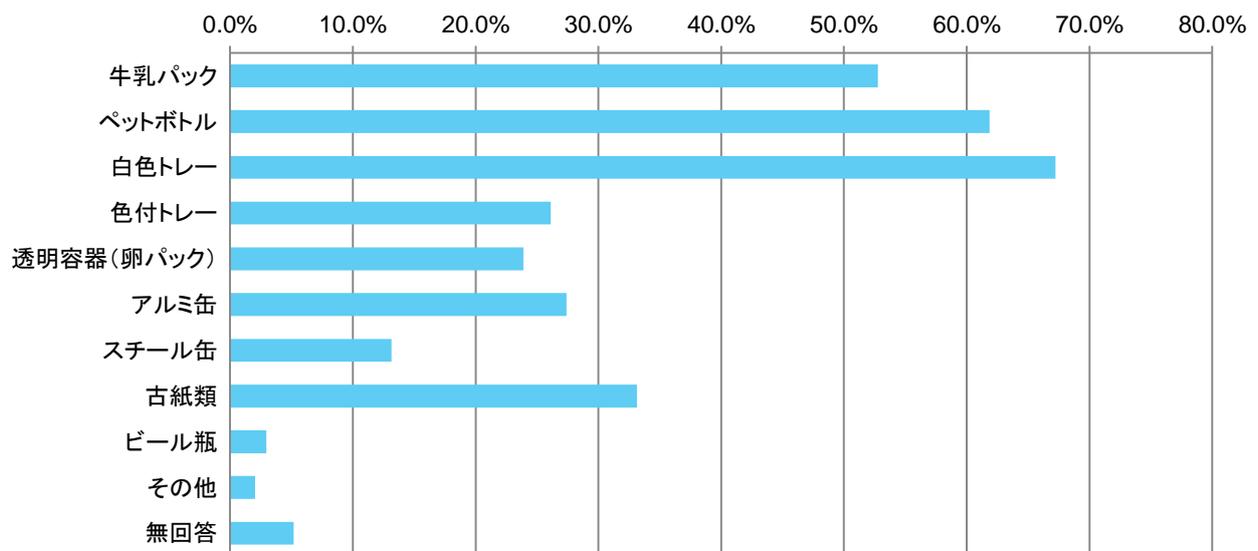


- ▶ 店頭回収は、スーパー等の環境保全活動の一環として自主的に取り組まれているものですが、容器包装リサイクル法の施行により小売業者にも容器包装のリサイクル義務が課されていることから、スーパー等は回収に対して社会的責任も有していると考えられます。しかし、半数以上の人々が店頭回収を利用していないことがわかります。

問6-2 (問6-1で1に○を付けた方) 利用した品目をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 牛乳パック	285	52.8%
2 ペットボトル	334	61.9%
3 白色トレイ	363	67.2%
4 色付トレイ	141	26.1%
5 透明容器(卵パック)	129	23.9%
6 アルミ缶	148	27.4%
7 スチール缶	71	13.1%
8 古紙類	179	33.1%
9 ビール瓶	16	3.0%
10 その他	11	2.0%
0 無回答	28	5.2%

(n=540)

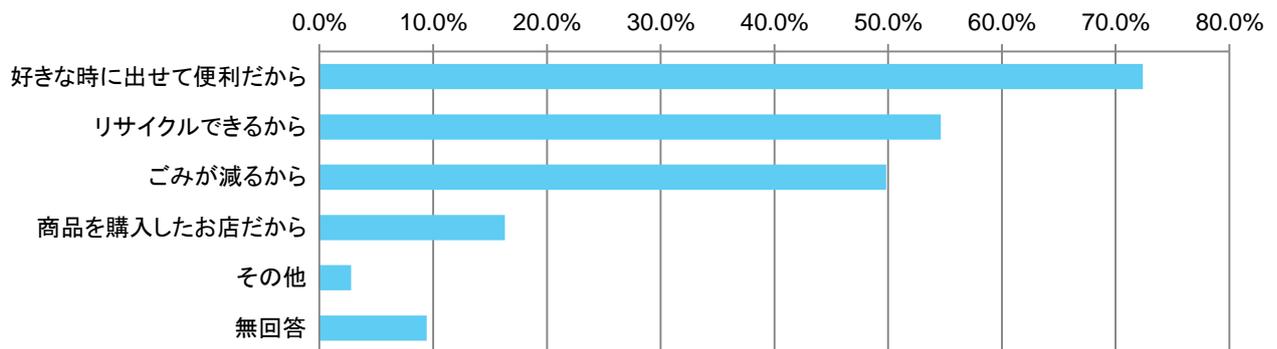


- ▶ 色付トレイや透明容器(卵パック)については、市の分別収集では可燃ごみにあたるため、店頭回収を活用しリサイクルするのが有効です。店頭回収を利用している人のうち、色付トレイや透明容器(卵パック)を出している人は25%前後にとどまっています。引き続き店頭回収の活用を推進していく必要があります。

問6-3 (問6-1で1に○を付けた方) 利用した理由をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 好きな時に出せて便利だから	391	72.4%
2 リサイクルできるから	295	54.6%
3 ごみが減るから	269	49.8%
4 商品を購入したお店だから	88	16.3%
5 その他	15	2.8%
0 無回答	51	9.4%

(n=540)

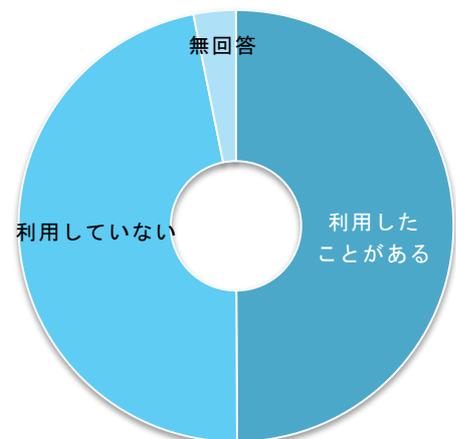


- ▶ 店頭回収を利用した理由としては、利便性を挙げる人が多くなっています。また、利用した人の約半数が「リサイクルできるから」「ごみが減るから」と回答しています。

問7-1 民間の資源物引取拠点について、過去1年間の利用状況をお答えください。※○は1つ

ここでいう「民間の資源物引取拠点」とは、回収業者が拠点を設けて回収しているもの（エコ便や古紙ランド等）のほか、スーパー等の駐車場等において決まった曜日に古紙類や缶等の回収を行っているものを指します。

回答項目	回答数	割合
1 利用したことがある	619	49.9%
2 利用していない	582	46.9%
0 無回答	39	3.1%
合計	1240	100.0%

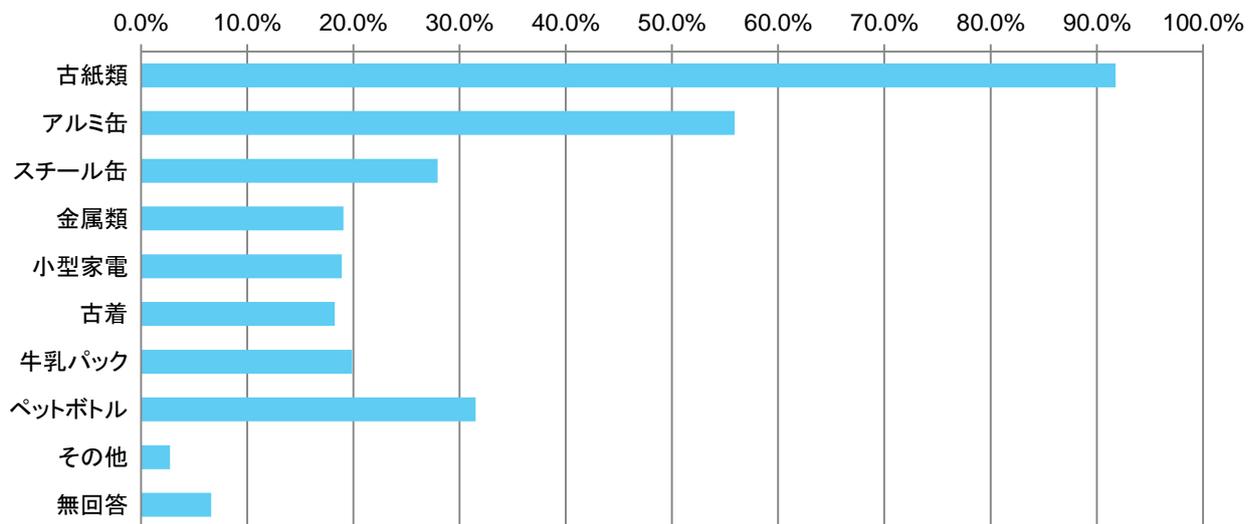


- ▶ 本市では、民間事業者が市内各所に資源物引取拠点を設けているほか、スーパー等で資源物回収を行っていますが、半数の人が「利用したことがある」と回答しています。

問7-2 (問7-1で1に○を付けた方) 利用した品目をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 古紙類	568	91.8%
2 アルミ缶	346	55.9%
3 スチール缶	173	27.9%
4 金属類	118	19.1%
5 小型家電	117	18.9%
6 古着	113	18.3%
7 牛乳パック	123	19.9%
8 ペットボトル	195	31.5%
9 その他	17	2.7%
0 無回答	41	6.6%

(n=619)

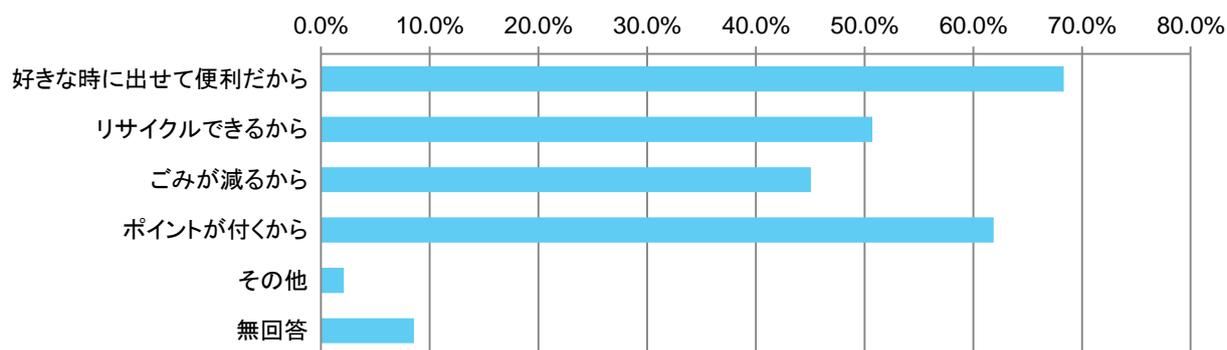


- ▶ 古紙類とアルミ缶はすべての資源物引取拠点で取り扱われており、回収率が高い要因となっていると考えられます。

問7-3 (問7-1で1に○を付けた方) 利用した理由をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 好きな時に出せて便利だから	423	68.3%
2 リサイクルできるから	314	50.7%
3 ごみが減るから	279	45.1%
4 ポイントが付くから	383	61.9%
5 その他	13	2.1%
0 無回答	53	8.6%

(n=619)



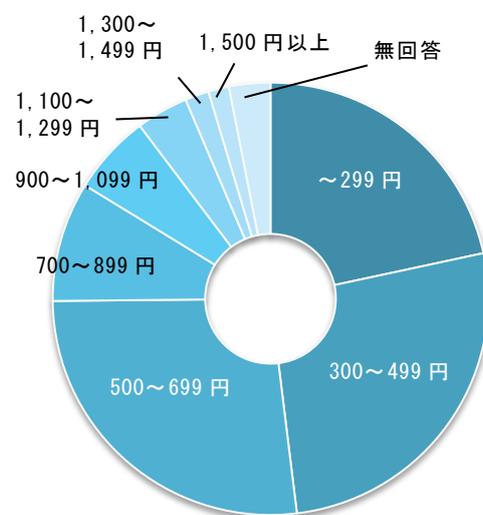
- ▶ 民間の資源物引取拠点を利用した理由として、利便性を挙げる人が多いことがわかります。また、資源物の重量によってポイントが付与され、商品券等に交換ができることから、ポイントが付くことを理由としている人も多くなっています。

3 ごみの収集について

問8 可燃ごみと不燃・不燃性粗大ごみを出すために、指定ごみ袋・収集シールにかかる費用は1か月当たりどのくらいですか。※〇は1つ

1枚当たりの手数料の額（販売価格）は、40ℓ袋…62円、30ℓ袋（可燃のみ）…46円、20ℓ袋…31円、10ℓ袋…16円、収集シール…62円です。※10月以降は額が変わるものがあります。

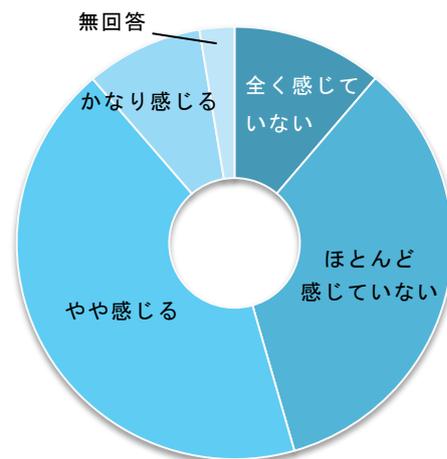
回答項目	回答数	割合
1 300円未満	268	21.6%
2 300円以上 500円未満	328	26.5%
3 500円以上 700円未満	332	26.8%
4 700円以上 900円未満	111	9.0%
5 900円以上 1,100円未満	74	6.0%
6 1,100円以上 1,300円未満	48	3.9%
7 1,300円以上 1,500円未満	22	1.8%
8 1,500円以上	19	1.5%
0 無回答	38	3.1%
合計	1240	100.0%



- ▶ 1月当たりの収集回数を可燃ごみ9回、不燃ごみ2回とし、各収集日に40ℓの指定ごみ袋を利用してごみを出したと仮定した場合の費用は682円（調査当時）となりますが、700円以上かかると回答した人が合わせて22%を占めています。

問9 指定ごみ袋・収集シールにかかる費用についてどの程度負担に感じていますか。※〇は1つ

回答項目	回答数	割合
1 全く負担を感じていない	139	11.2%
2 ほとんど負担を感じていない	426	34.4%
3 やや負担を感じる	535	43.1%
4 かなり負担を感じる	108	8.7%
0 無回答	32	2.6%
合計	1240	100.0%



- ▶ 「全く負担を感じていない」「ほとんど負担を感じていない」と回答した人は合わせて46%ですが、「やや負担を感じる」「かなり負担を感じる」と回答した人が合わせて52%と過半数を占めています。

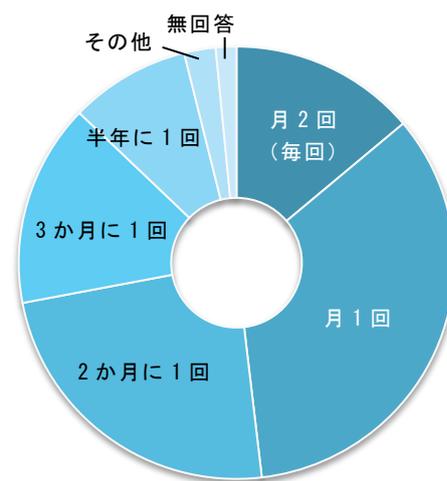
問10 現在の指定ごみ袋や収集シールについて、ご意見やご要望があれば自由に記入してください。

寄せられた主な意見・要望は次のとおりです。

- ・指定ごみ袋が高い、安くしてほしい
- ・指定ごみ袋が破れやすい、裂けやすい
- ・収集シールが破れやすい、貼りにくい
- ・指定ごみ袋や収集シールをばら売りしてほしい

問11 不燃ごみを出す頻度はどのくらいですか。※〇は1つ

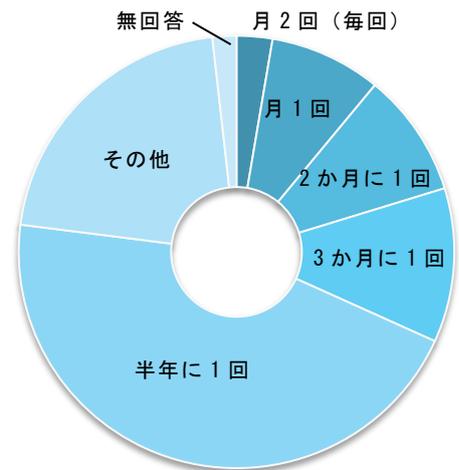
回答項目	回答数	割合
1 月2回(毎回)	172	13.9%
2 月1回	425	34.3%
3 2か月に1回	296	23.9%
4 3か月に1回	188	15.2%
5 半年に1回	111	9.0%
6 その他	29	2.3%
0 無回答	19	1.5%
合計	1240	100.0%



- ▶ 不燃ごみを毎月出すと回答した人は14%にとどまり、毎月出さないと回答した人は約半数にのぼります。

問12 不燃性粗大ごみを出す頻度はどのくらいですか。※〇は1つ

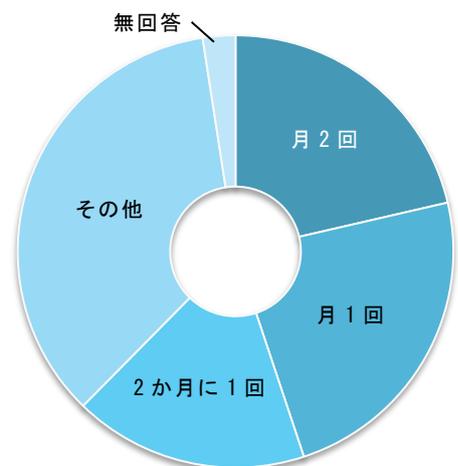
回答項目	回答数	割合
1 月2回(毎回)	33	2.7%
2 月1回	103	8.3%
3 2か月に1回	115	9.3%
4 3か月に1回	143	11.5%
5 半年に1回	561	45.2%
6 その他	263	21.2%
0 無回答	22	1.8%
合計	1240	100.0%



- ▶ 不燃性粗大ごみを毎回出す人は3%にとどまり、45%の人が「半年に1回」しか出さないと回答しています。また、「その他」と回答した人のうち、65%（全体では14%）が「ほとんど出さない・出したことがない、1年に1回か、それより少ない」と回答しています。

問13 古紙類（新聞・チラシ、本・雑誌・雑がみ、ダンボール・紙箱）を市の収集に出す頻度はどのくらいですか。※〇は1つ

回答項目	回答数	割合
1 月2回	265	21.4%
2 月1回	292	23.5%
3 2か月に1回	216	17.4%
4 その他	437	35.2%
0 無回答	30	2.4%
合計	1240	100.0%



- ▶ 月1回以上出すと回答した人が45%を占める一方、「その他」と回答した人のうち、68%（全体では24%）の人が「出さない・市の収集には出さない」と回答しています。

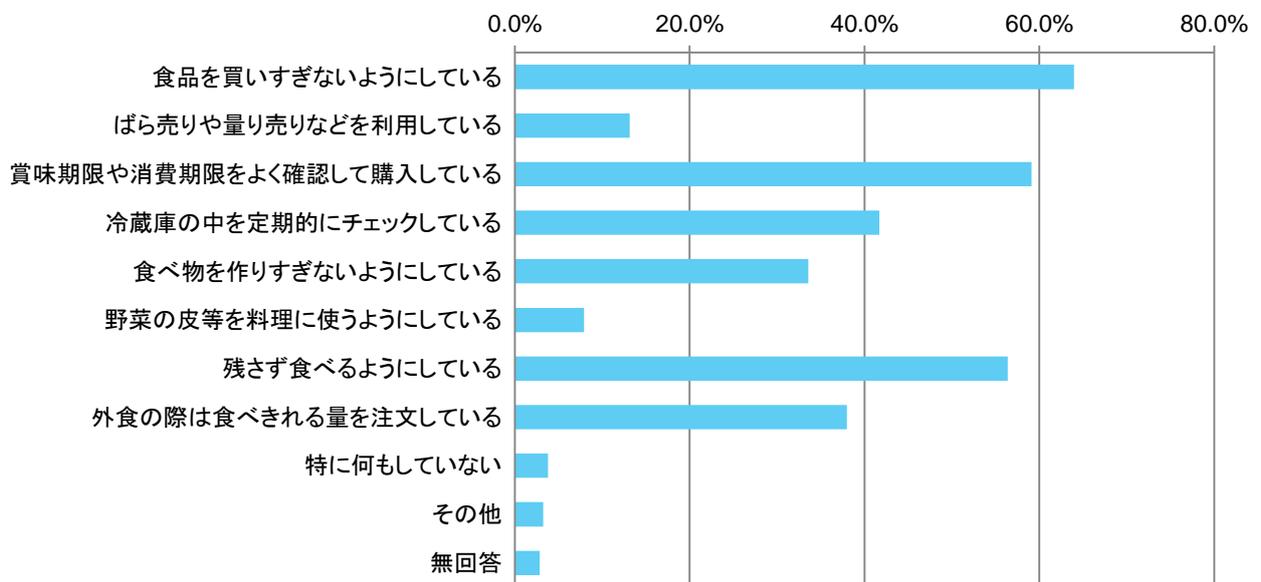
4 生ごみの減量について

生ごみのうち、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物を「食品ロス」といいます。食品ロスの削減を総合的に推進することを目的として「食品ロスの削減の推進に関する法律」が本年5月に公布されました。本法では、消費者の役割として「食品の購入又は調理の方法を改善すること等により食品ロスの削減について自主的に取り組むよう努めるものとする」とされています。

問14 食品や食材がごみにならないように気を付けていることをお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 食品を買いすぎないようにしている	793	64.0%
2 ばら売りや量り売りなどを利用している	163	13.1%
3 賞味期限や消費期限をよく確認して購入している	733	59.1%
4 冷蔵庫の中を定期的にチェックしている	517	41.7%
5 食べ物を作りすぎないようにしている	416	33.5%
6 野菜の皮等を料理に使うようにしている	98	7.9%
7 残さず食べるようにしている	699	56.4%
8 外食の際は食べきれる量を注文している	471	38.0%
9 特に何もしていない	47	3.8%
10 その他	40	3.2%
0 無回答	35	2.8%

(n=1240)

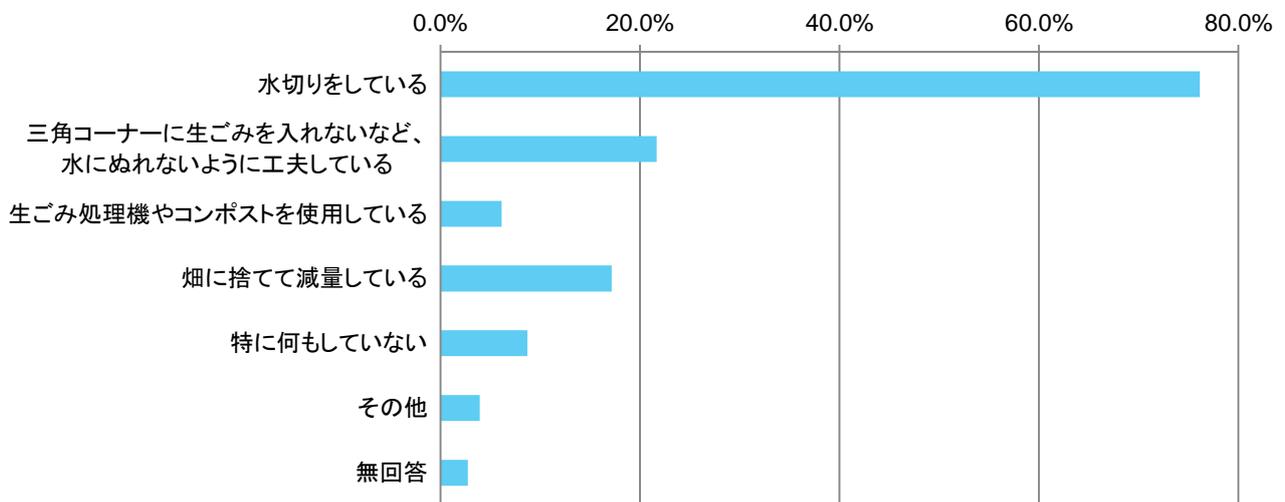


- ▶ 半数以上の方が、「食品を買いすぎないようにしている」「賞味期限や消費期限をよく確認して購入している」「残さず食べるようにしている」と回答しており、食品や食材がごみにならないよう気を付けていることがわかります。

問15 生ごみを出すときに気を付けていることをお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 水切りをしている	944	76.1%
2 三角コーナーに生ごみを入れないなど、水にぬれないように工夫している	269	21.7%
3 生ごみ処理機やコンポストを使用している	78	6.3%
4 畑に捨てて減量している	219	17.7%
5 特に何もしていない	108	8.7%
6 その他	38	3.1%
0 無回答	34	2.7%

(n=1240)



▶ 生ごみを出す際には「水切りをしている」と回答した人が最も多くなっています。

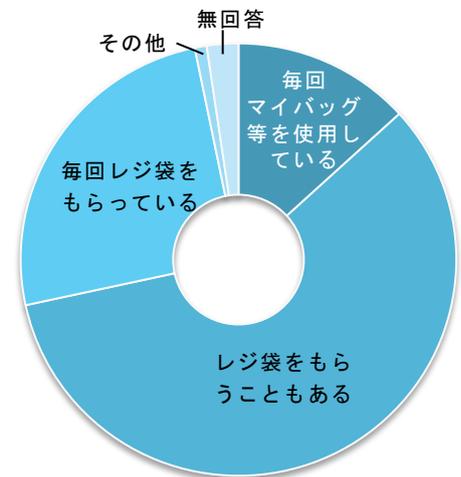
5 レジ袋について

プラスチックの有効利用が世界的な課題となっています。使い捨てプラスチックの削減の一環として、レジ袋が来年4月*から有料義務化される見込みです。

*アンケート調査後、有料義務化の開始については「令和2年7月」に延長されました。

問16 現在、スーパーやコンビニ等での買い物の際は、どの袋を使用していますか。※〇は1つ

回答項目	回答数	割合
1 毎回マイバッグやマイかごを使用している	164	13.2%
2 マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋をもらうこともある	724	58.4%
3 毎回レジ袋をもらっている	312	25.2%
4 その他	11	0.9%
0 無回答	29	2.3%
合計	1240	100.0%

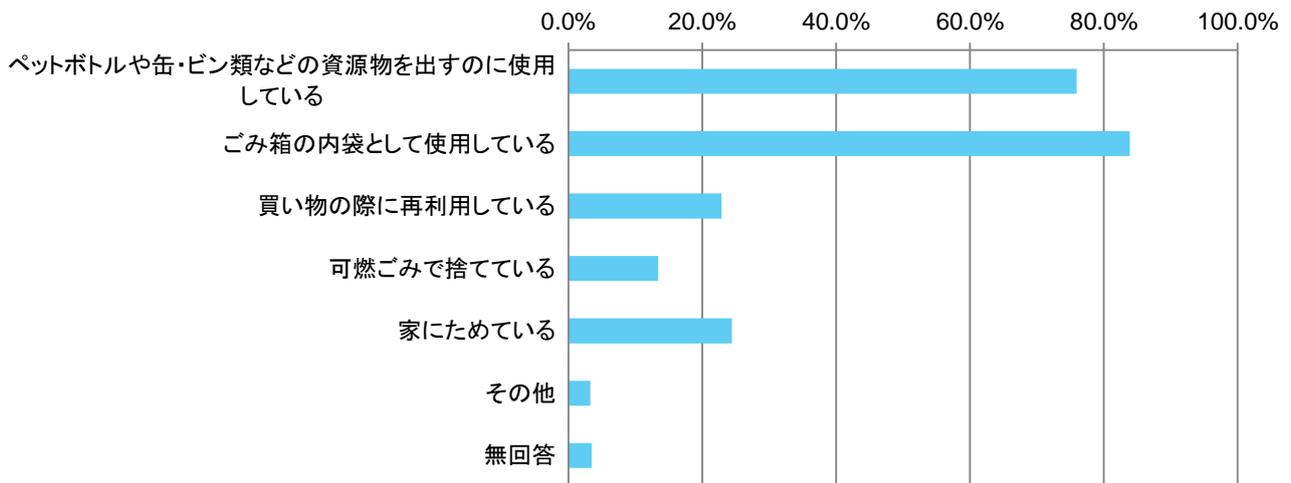


- ▶ 買い物の際、25%の人が「毎回レジ袋をもらっている」と回答しており、「レジ袋をもらうこともある」と回答した人と合わせると、84%にのびります。

問17 (問16で2、3に〇を付けた方) 使い終わったレジ袋はどうしていますか。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 ペットボトルや缶・ビン類などの資源物を出すのに使用している	787	76.0%
2 ごみ箱の内袋として使用している	869	83.9%
3 買い物の際に再利用している	237	22.9%
4 可燃ごみで捨てている	139	13.4%
5 家にためている	253	24.4%
6 その他	34	3.3%
0 無回答	36	3.5%

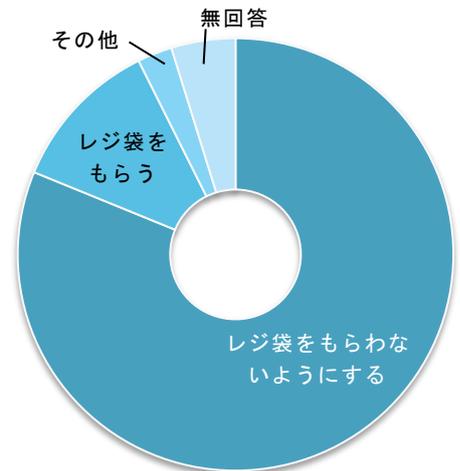
(n=1036)



- ▶ 使い終わったレジ袋の使い道としては、「ごみ箱の内袋として使用している」と回答した人が84%、「資源物を出すのに使用している」と回答した人が76%を占めています。

問18 レジ袋が有料義務化されればどうしますか。※〇は1つ

回答項目	回答数	割合
1 マイバッグやマイかごを持って行き、レジ袋をもらわないようにする	1007	81.2%
2 今までどおりレジ袋をもらう	142	11.5%
3 その他	32	2.6%
0 無回答	59	4.8%
合計	1240	100.0%



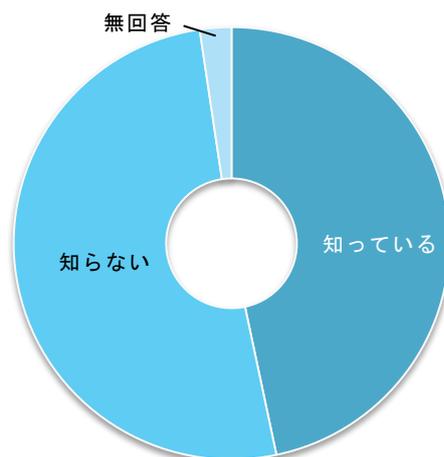
- ▶ レジ袋が有料義務化されれば、81%の人が「レジ袋をもらわないようにする」と回答しています。

6 小型家電について

携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機などの小型家電には、多くの有用な資源（金、銀やレアメタル等）が含まれており、「都市鉱山」とも呼ばれています。これらの資源をリサイクルし有効活用するため、平成25年に「小型家電リサイクル法」が施行され、各自治体や認定事業者が小型家電リサイクルに取り組んでいます。

問19 米子市では、平成26年度から小型家電リサイクルに取り組んでいますが、ご存知ですか。※〇は1つ

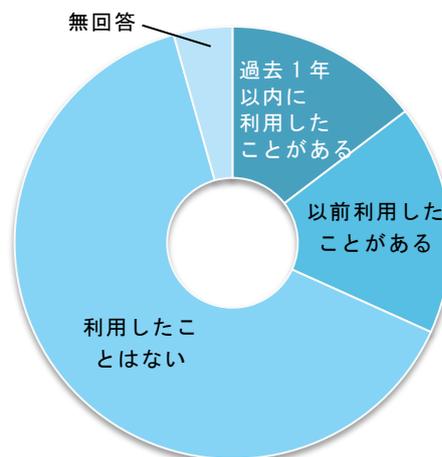
回答項目	回答数	割合
1 知っている	579	46.7%
2 知らない	632	51.0%
0 無回答	29	2.3%
合計	1240	100.0%



- ▶ 市の取組について、51%の人が「知らない」と回答しており、周知が十分でないことが伺えます。

問20 小型家電リサイクルについて、利用状況をお答えください。※〇は1つ

回答項目	回答数	割合
1 過去1年以内に利用したことがある	181	14.6%
2 以前利用したことがある	213	17.2%
3 利用したことはない	792	63.9%
0 無回答	54	4.4%
合計	1240	100.0%

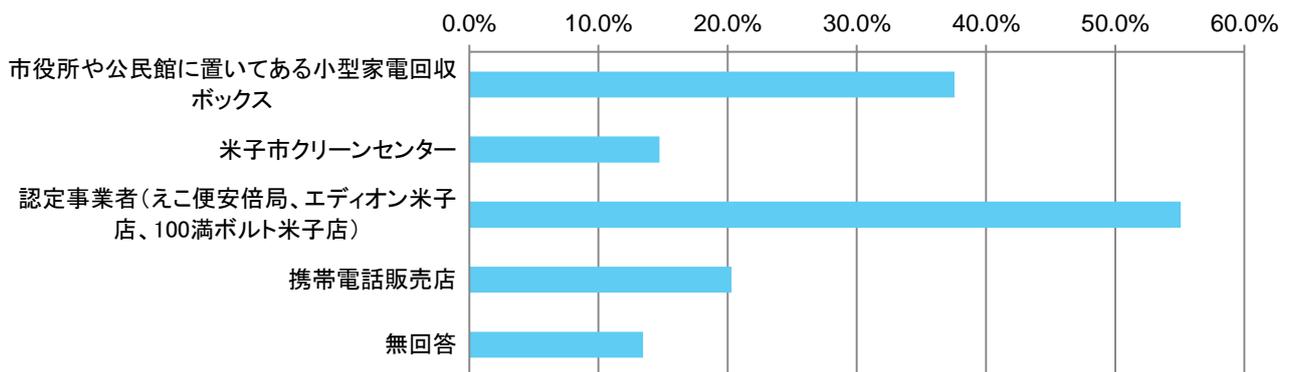


- ▶ 小型家電リサイクルの制度を利用したことがある人は、合わせて32%にとどまっています。

問21 (問20で1、2に○を付けた方) 小型家電を持ち込んだのはどこですか。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 市役所や公民館に置いてある小型家電回収ボックス	148	37.6%
2 米子市クリーンセンター	58	14.7%
3 認定事業者 (えこ便安倍局、エディオン米子店、100満ボルト米子店)	217	55.1%
4 携帯電話販売店	80	20.3%
0 無回答	53	13.5%

(n=394)

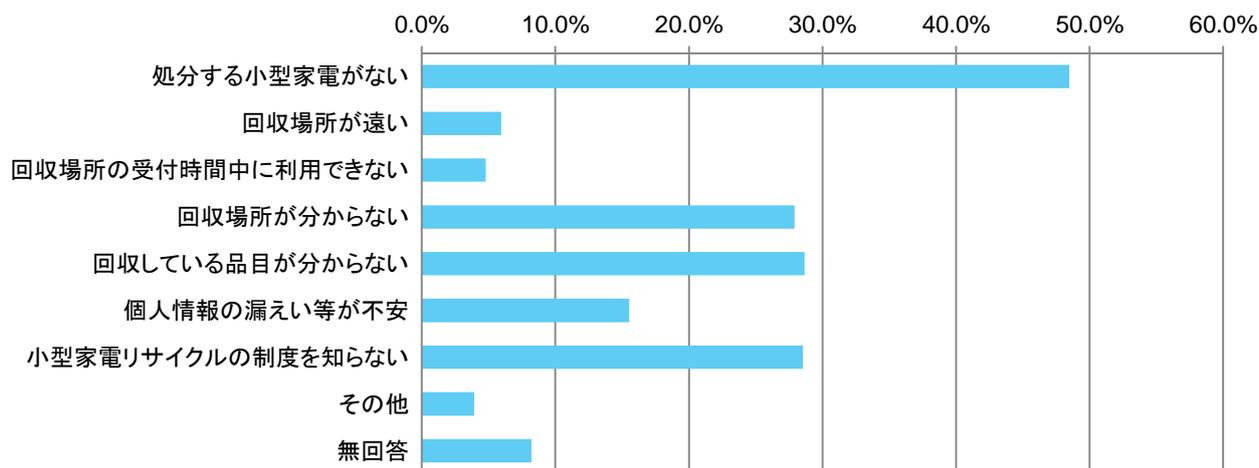


▶ 小型家電を持ち込んだ場所として半数以上の方が「認定事業者」と回答しています。

問22 (問20で3に○を付けた方) 利用したことがない理由をお答えください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 処分する小型家電がない	384	48.5%
2 回収場所が遠い	47	5.9%
3 回収場所の受付時間中に利用できない	38	4.8%
4 回収場所が分からない	221	27.9%
5 回収している品目が分からない	227	28.7%
6 個人情報の漏えい等が不安	123	15.5%
7 小型家電リサイクルの制度を知らない	226	28.5%
8 その他	31	3.9%
0 無回答	65	8.2%

(n=792)



- ▶ 利用したことがない理由として、「処分する小型家電がない」と回答した人が最も多くなっていますが、「回収場所が分からない」「回収している品目が分からない」「小型家電リサイクルの制度を知らない」など、制度の周知不足により利用者が少ないことが伺えます。

問23 小型家電のリサイクルについて、ご意見やご要望があれば自由に記入してください。

寄せられた主な意見・要望は次のとおりです。

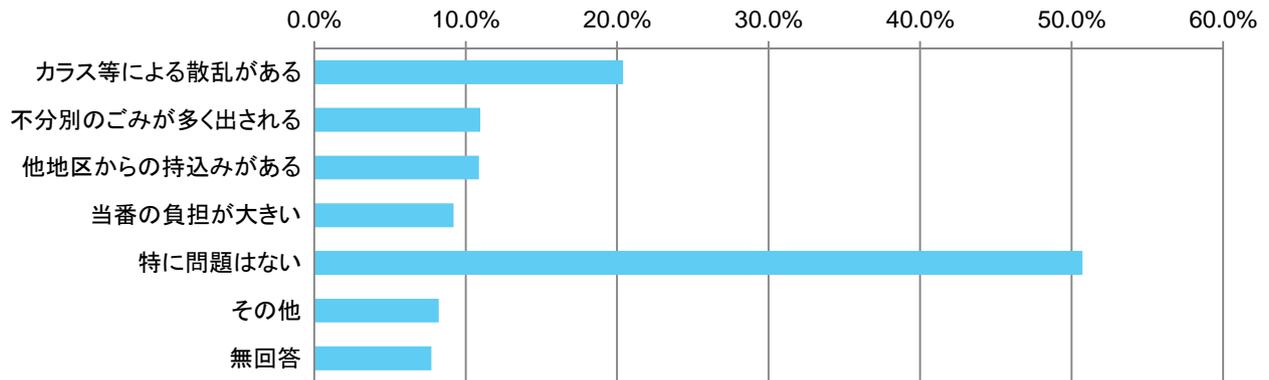
- ・ 広く周知をしてほしい
- ・ 制度がよくわからない
- ・ 定期収集してほしい
- ・ 回収拠点を増やしてほしい

7 ごみ置場について

問24 利用されているごみ置場について、何か問題はありますか。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 カラス等による散乱がある	253	20.4%
2 不分別のごみが多く出される	136	11.0%
3 他地区からの持込みがある	135	10.9%
4 当番の負担が大きい	114	9.2%
5 特に問題はない	629	50.7%
6 その他	102	8.2%
0 無回答	96	7.7%

(n=1240)



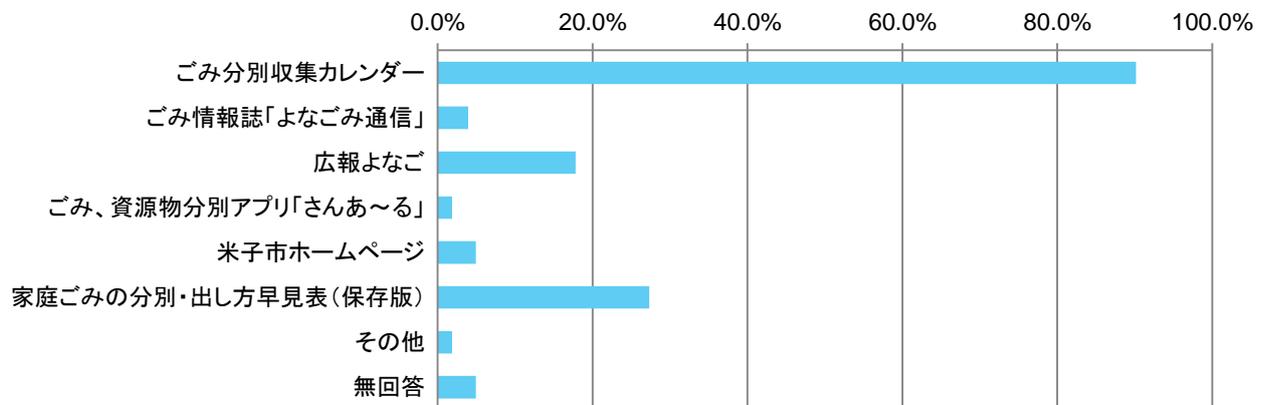
▶ 半数の人が「特に問題はない」と回答していますが、20%の人が「カラス等による散乱がある」と回答しています。

8 市の施策について

問25 あなたは米子市のごみやりサイクルに関する情報をどのような方法で入手していますか。
※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 ごみ分別収集カレンダー	1118	90.2%
2 ごみ情報誌「よなごみ通信」	49	4.0%
3 広報よなご	221	17.8%
4 ごみ、資源物分別アプリ「さんあ〜る」	23	1.9%
5 米子市ホームページ	61	4.9%
6 家庭ごみの分別・出し方早見表（保存版）	339	27.3%
7 その他	23	1.9%
0 無回答	61	4.9%

(n=1240)

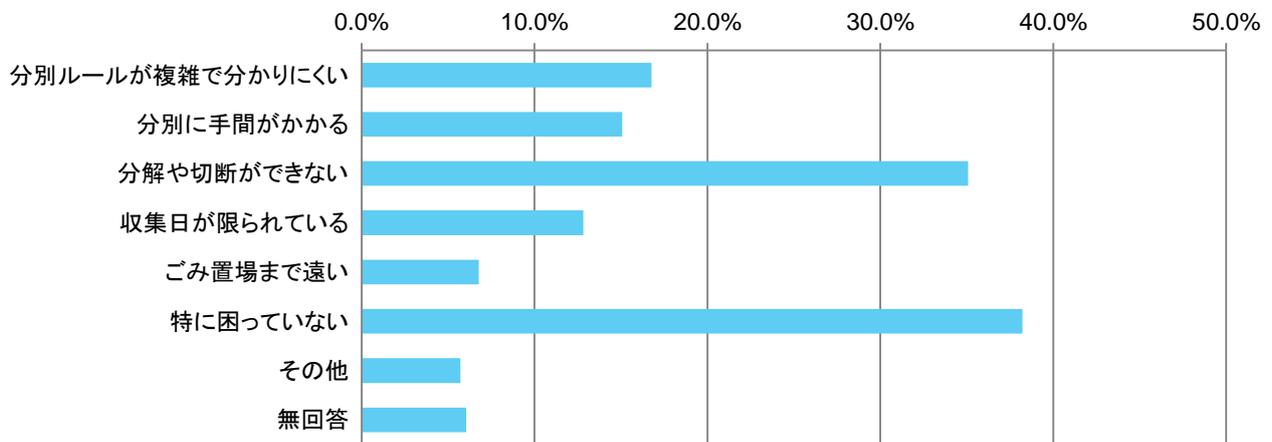


▶ 情報の入手先としては、「ごみ収集カレンダー」が最も多くなっています。一方、平成30年度から導入した「ごみ、資源物分別アプリ『さんあ〜る』」を挙げた人は2%にとどまっています。また、平成22年度に発行した「家庭ごみの分別・出し方早見表（保存版）」を利用している人も27%いることがわかります。

問26 あなたはごみを出すにあたり、どのような点で困っていますか。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 分別ルールが複雑で分かりにくい	208	16.8%
2 分別に手間がかかる	187	15.1%
3 分解や切断ができない	435	35.1%
4 収集日が限られている	159	12.8%
5 ごみ置場まで遠い	84	6.8%
6 特に困っていない	474	38.2%
7 その他	71	5.7%
0 無回答	75	6.0%

(n=1240)

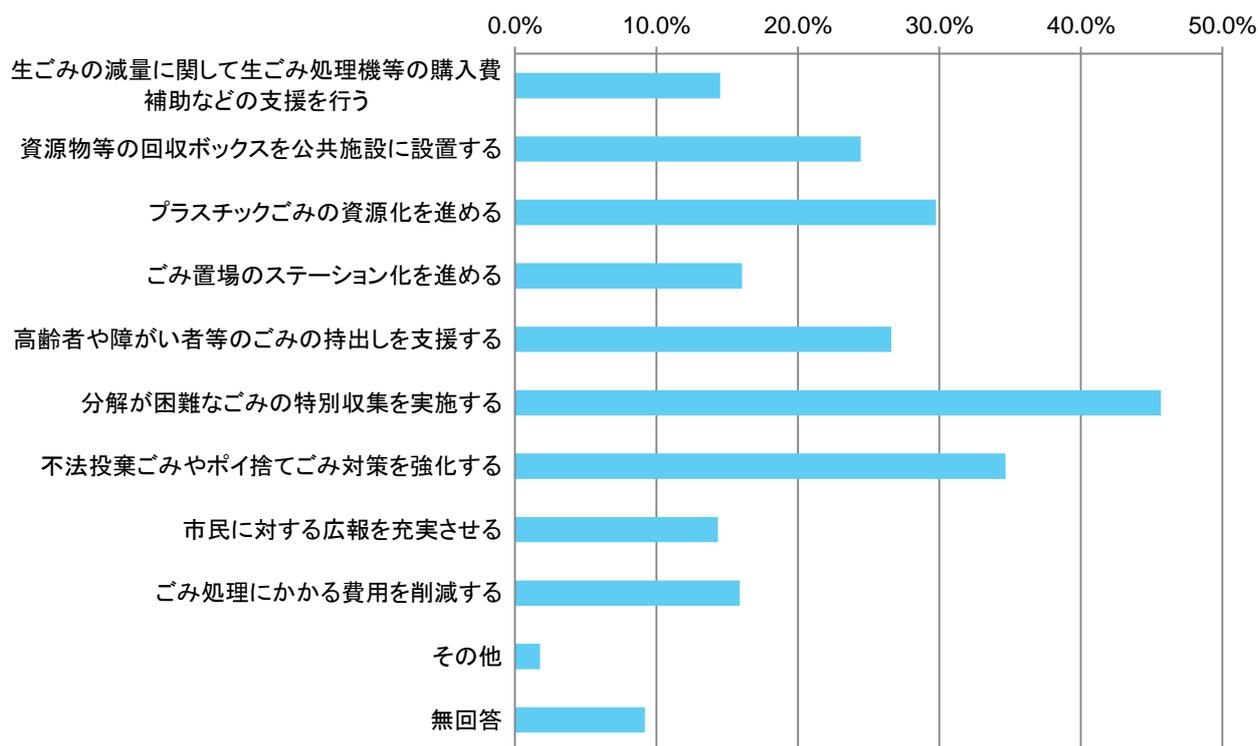


- ▶ ごみ出しに当たっては、「特に困っていない」と答えた人が最も多い一方、「分解や切断ができない」と答えた人も35%おり、大型ごみの処理に困っている人が多いことがわかります。

問27 今後ごみの減量とリサイクル、ごみの処理などに関して必要な市の取組は何だと思えますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。※複数回答可

回答項目	回答数	割合
1 生ごみの減量に関して生ごみ処理機等の購入費補助などの支援を行う	180	14.5%
2 資源物等の回収ボックスを公共施設に設置する	303	24.4%
3 プラスチックごみの資源化を進める	369	29.8%
4 ごみ置場のステーション化を進める	199	16.0%
5 高齢者や障がい者等のごみの持出しを支援する	330	26.6%
6 分解が困難なごみの特別収集を実施する	566	45.6%
7 不法投棄ごみやポイ捨てごみ対策を強化する	430	34.7%
8 市民に対する広報を充実させる	178	14.4%
9 ごみ処理にかかる費用を削減する	197	15.9%
10 その他	22	1.8%
0 無回答	114	9.2%

(n=1240)



- ▶ 今後必要だと思う市の取組としては、「分解が困難なごみの特別収集を実施する」と答えた人が最も多く、次に「不法投棄ごみやポイ捨てごみ対策を強化する」、「プラスチックごみの資源化を進める」と続いています。また、「高齢者や障がい者等のごみの持出しを支援する」と答えた人も多くなっています。

問28 ごみ全般に関するご意見やご要望があれば自由に記入してください。なお、ご記入いただいた内容についての回答はいたしかねますのでご了承ください。

寄せられた主な意見・要望は次のとおりです。

- ・大型ごみが分解できず困っている、特別収集してほしい
- ・ポイ捨てが多い
- ・指定ごみ袋が高い
- ・分別をもっと周知してほしい
- ・高齢になり、ごみ置場が遠く感じる
- ・ごみ当番が負担
- ・乾電池、蛍光灯の回収日を増やしてほしい
- ・自治会未加入だとごみ置場にごみが出せない
- ・カラス対策を何とかしてほしい
- ・プラスチックごみの分別収集をしてはどうか
- ・レジ袋がないと資源物を出す袋に困る